

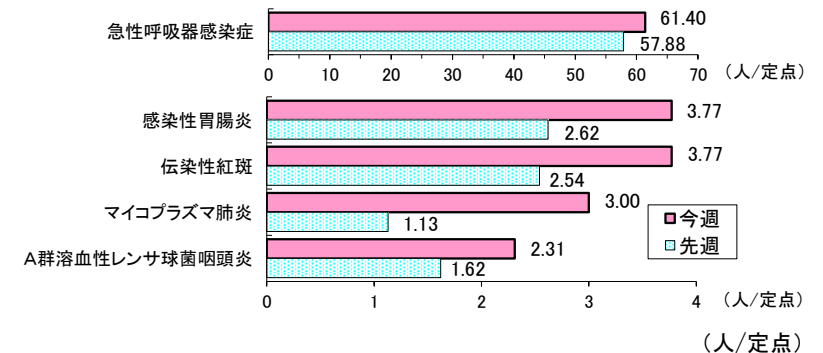


【第23週の発生動向】

＜定点把握対象疾患（週報）・前週比＞

- 急性呼吸器感染症は、県全体で1.1倍に増加しています。保健所別では、秋田市、大館、北秋田、能代、由利本荘、大仙で増加、秋田中央、横手、湯沢で減少しています。
- 感染性胃腸炎は、県全体で1.4倍に増加しています。保健所別では、大館、北秋田、能代、秋田中央、由利本荘で増加、秋田市、横手で減少しています。
- 伝染性紅斑は、県全体で1.5倍に増加しています。保健所別では、秋田市、由利本荘、大仙で増加、湯沢で同規模となっています。

秋田県の定点医療機関における上位5疾患の発生規模



＜定点把握対象疾患（週報）＞

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第22週	第23週	増減	第22週	第23週	増減	第22週	第23週	増減	第22週	第23週	増減	第22週	第23週	増減	第22週	第23週	増減	第22週	第23週	増減	第22週	第23週	増減	第22週	第23週	増減	第22週	第23週	増減
インフルエンザ	0.12	0.16	↗				0.50	1.50	↗	1.00		↘													0.50	↗				
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	0.88	0.96	↗	0.78	1.11	↗	0.50	1.00	↗	1.50	2.00	↗	0.50	1.00	↗	0.50	0.50		1.50	1.00	↘	1.50	1.00	↘	0.50		↘	1.00	0.50	↘
急性呼吸器感染症※	57.88	61.40	↗	69.33	72.67	↗	132.50	142.50	↗	40.00	50.00	↗	29.50	46.00	↗	51.50	46.00	↘	56.00	62.50	↗	18.00	18.50	↗	50.00	42.00	↘	34.00	33.00	↘
RSウイルス感染症																														
咽頭結膜熱	0.46	0.62	↗	0.80	0.60	↘													2.00	5.00	↗									
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.62	2.31	↗	1.40	3.20	↗	1.00	1.00		6.00	6.00								2.00	5.00	↗				3.00		↘	2.00	2.00	
感染性胃腸炎	2.62	3.77	↗	4.00	3.00	↘		10.00	↗	1.00	4.00	↗	1.00	5.00	↗	1.00	2.00	↗	9.00	12.00	↗				2.00	1.00	↘			
水痘	1.31	0.31	↘	3.40	0.80	↘																								
手足口病																														
伝染性紅斑	2.54	3.77	↗	5.00	7.80	↗													6.00	7.00	↗		1.00	↗				2.00	2.00	
突発性発しん	0.62	0.38	↘	0.80	1.00	↗				4.00		↘																		
ヘルパンギーナ																														
流行性耳下腺炎	0.15		↘	0.40		↘																								
川崎病																														
急性出血性結膜炎	0.14	0.14								*	*		*	*		*	*								1.00	1.00		*	*	
流行性角結膜炎	0.43	0.29	↘	0.67	0.33	↘				*	*		*	*		*	*								1.00	1.00		*	*	
細菌性髄膜炎																			*	*										
無菌性髄膜炎																			*	*										
マイコプラズマ肺炎	1.13	3.00	↗		5.00	↗		2.00	↗		7.00	↗	2.00	3.00	↗	*	*		1.00	2.00	↗	2.00	1.00	↘	4.00	4.00				
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎 (ロタウイルスによるもの)																*	*													

（注）・表の数値は、定点医療機関から報告された患者報告数を定点医療機関数で除した値（定点あたり患者報告数）を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。

・今週の保健所別患者報告数、定点医療機関数などは2ページに掲載しています。

・「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。

※2025年4月7日から急性呼吸器感染症(ARI)が定点把握対象疾患となりました。ARI定点から報告される症例は、咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のどれか1つの症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例です。



【第23週の保健所別報告数】

<患者報告数>

定点種別	疾患名	秋田県		秋田市		大館		北秋田		能代		秋田中央		由利本荘		大仙		横手		湯沢	
		患者 報告数	定点あたり 患者報告数	患者 報告数	定点あたり 患者報告数	患者 報告数	定点あたり 患者報告数	患者 報告数	定点あたり 患者報告数	患者 報告数	定点あたり 患者報告数	患者 報告数	定点あたり 患者報告数	患者 報告数	定点あたり 患者報告数	患者 報告数	定点あたり 患者報告数	患者 報告数	定点あたり 患者報告数	患者 報告数	定点あたり 患者報告数
急性呼吸器 感染症定点	インフルエンザ	4	0.16			3	1.50											1	0.50		
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	24	0.96	10	1.11	2	1.00	4	2.00	2	1.00	1	0.50	2	1.00	2	1.00			1	0.50
	急性呼吸器感染症	1,535	61.40	654	72.67	285	142.50	100	50.00	92	46.00	92	46.00	125	62.50	37	18.50	84	42.00	66	33.00
小児科定点	RSウイルス感染症																				
	咽頭結膜熱	8	0.62	3	0.60									5	5.00						
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	30	2.31	16	3.20	1	1.00	6	6.00					5	5.00					2	2.00
	感染性胃腸炎	49	3.77	15	3.00	10	10.00	4	4.00	5	5.00	2	2.00	12	12.00			1	1.00		
	水痘	4	0.31	4	0.80																
	手足口病																				
	伝染性紅斑	49	3.77	39	7.80									7	7.00	1	1.00			2	2.00
	突発性発しん	5	0.38	5	1.00																
	ヘルパンギーナ																				
	流行性耳下腺炎																				
	川崎病																				
眼科定点	急性出血性結膜炎	1	0.14					*	*	*	*	*	*					1	1.00	*	*
	流行性角結膜炎	2	0.29	1	0.33			*	*	*	*	*	*					1	1.00	*	*
基幹定点	細菌性髄膜炎											*	*								
	無菌性髄膜炎											*	*								
	マイコプラズマ肺炎	24	3.00	5	5.00	2	2.00	7	7.00	3	3.00	*	*	2	2.00	1	1.00	4	4.00		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)											*	*								
	感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)											*	*								

・定点あたり患者報告数(人／定点)は、1週間(月～日曜日)のうち定点医療機関から報告された患者数を定点医療機関数で割った値を示します。

・「＊」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は当該週における患者の報告がなかったことを示します。

<定点医療機関数>

定点種別	秋田県	秋田市	大館	北秋田	能代	秋田 中央	由利 本荘	大仙	横手	湯沢
急性呼吸器感染症定点	25	9	2	2	2	2	2	2	2	2
小児科定点	13	5	1	1	1	1	1	1	1	1
眼科定点	7	3	1	0	0	0	1	1	1	0
基幹定点	8	1	1	1	1	0	1	1	1	1



<全数把握対象疾患>

類型	疾患名	(人)		
		1週-22週	23週	24週
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	5408	21	1
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ（H5N1）			
	鳥インフルエンザ（H7N9）			
三類	コレラ	3		
	細菌性赤痢	24		
	腸管出血性大腸菌感染症	632	7	
	腸チフス	9		
	パラチフス	3		
	E型肝炎	241	2	
	ウエストナイル熱			
四類	A型肝炎	63		
	エキノコックス症	9		
	エムボックス	1		
	黄熱			
	オウム病	5		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	3		
	キャサナル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
	コクシジオイデス症	1		
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	56		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	ダニ媒介脳炎			
	炭疽			
	チクングニア熱	7		
	つつが虫病	77	8	
	デング熱	58		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ（H5N1、H7N9を除く）			
	ニパウイルス感染症			

類型	疾患名	(人)		
		1週-22週	23週	24週
四類	日本紅斑熱	139		
	日本脳炎			
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症			
	ペネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ボツリヌス症	1		
	マラリア	8		
	野兔病			
	ライム病			
	リッサウイルス感染症			
五類	リフトバレー熱			
	類鼻疽			
	レジオネラ症	744	7	1
	レプトスピラ症	2		
	ロッキー山紅斑熱			
	アメーバ赤痢	197		
	ウイルス性肝炎（E型及びA型を除く）	97		
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	615	6	
	急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く）	10		
	急性脳炎	256	3	
	クリプトスポリジウム症	13		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	68	2	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	683	5	
	後天性免疫不全症候群	334	1	
	ジアルジア症	13		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	352	1	
	侵襲性髄膜炎菌感染症	44		
	侵襲性肺炎球菌感染症	2016	10	3
	水痘（入院例に限る）	262	7	1
	先天性風しん症候群			
	梅毒	5722	10	1
	播種性クリプトコックス症	70		
	破傷風	28		
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	44		
	百日咳	25037	401	61
	風しん	6	1	
	麻しん	129		
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	4		

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が秋田市保健所管内から1人、報告されました。
- ・四類感染症のレジオネラ症が秋田市保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症の侵襲性肺炎球菌感染症が秋田市保健所管内から3人、報告されました。
- ・五類感染症の水痘（入院例に限る）が横手保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症の梅毒が秋田市保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症の百日咳が秋田市保健所管内から19人、大館保健所管内から5人、北秋田保健所管内から1人、能代保健所管内から3人、由利本荘保健所管内から3人、大仙保健所管内から3人、横手保健所管内から23人、湯沢保健所管内から4人、報告されました。

<伝染性紅斑（リンゴ病）が増加しています>

伝染性紅斑は、両類に特徴的な真っ赤な発疹（紅斑）が出現することから“リンゴ病”とも呼ばれ、小児を中心に流行します。全国では2024年11月頃から増加傾向にあり、県内でも今年に入り例年を上回る報告が続いていましたが、5月以降急増し、20週には2016年ぶりに警報基準（参考値*）を超えました。

*2025年4月6日以前（定点医療機関数変更前）の警報開始基準値（2（人/定点））

■症状

原因となるヒトパルボウイルスB19に感染すると、10～20日の潜伏期間の後、微熱や咳といったかぜ様の症状がみられます。その後両類に境界鮮明な紅斑が現れ、次いで手足や体幹部にレース状の発疹が広がります。通常、これらの発疹は1週間程度で消失しますが、成人では関節炎症状のため、1～2日間ほど歩行が困難となる場合もあります。多くは合併症を起こすことなく自然に回復しますが、感染歴のない女性が妊娠中に初めて感染した場合は、胎児水腫や流産の原因となることもありますので注意が必要です。発疹が出る前のかぜ様症状の時期が、ウイルスの排出が最も多く感染力がありますが、発疹が現れる頃になると感染力はほぼ消失しています。

■感染経路・予防

主な感染経路は、飛沫感染（ウイルスを含んだ患者の咳やくしゃみを吸い込む）と接触感染（咳などのしぶきが付着したものに触れた手を介して、口や鼻からウイルスを取り込む）です。感染予防には手洗いやマスク着用などの対策を日常的に徹底することが重要です。

感染症の集団発生報告

かぜ様症状2件の集団発生報告がありました。



図 全国と秋田県における伝染性紅斑の定点あたり患者報告数の推移

事例の 種類	管轄 保健所	施設種別	報告日	有症者数			把握期間	主な症状
				利用者 （園児、入所者等）	職員	計		
かぜ様 症状	大館	高齢者施設	6/4	77 名のうち 18 名	39 名のうち 3 名	21 名	5/31 ~ 6/5	咳、鼻汁
	湯沢	社会福祉施設	6/5	77 名のうち 8 名	68 名のうち 6 名	14 名	6/1 ~ 6/5	発熱、咳、鼻汁

※社会福祉施設等における、原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。

※新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の集団発生報告は4ページに掲載しています。



2025年度 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)情報

(人/定点)

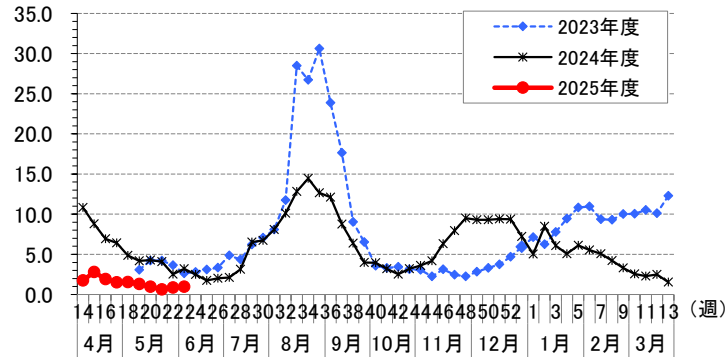


図1 秋田県におけるCOVID-19の定点あたり患者報告数

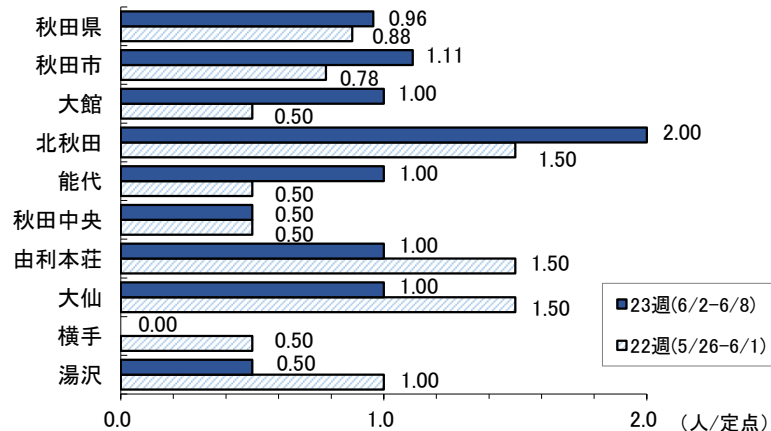


図2 秋田県各保健所におけるCOVID-19の定点あたり患者報告数

- ・定点あたり患者報告数は、1週間のうち(月～日曜日)定点医療機関から報告された患者数を定点医療機関数で割った値を示します。
- ・保健所別患者報告数、定点医療機関数は2ページに掲載しています。

COVID-19入院サーベイランス

表 COVID-19による入院患者報告数(人)

2025年第1週～2025年第22週		2025年第23週
全国	秋田県	秋田県
32376	377	2

※入院サーベイランスの患者報告数は、秋田県内8か所、全国約500か所の基幹定点医療機関からの報告です。

社会福祉施設等におけるCOVID-19の集団発生状況

No	管轄保健所	施設種別	報告日	感染者数(疑い含む)			把握期間	主な症状
				利用者(園児、入所者等)	職員	計		
1	北秋田	社会福祉施設	6/4	71名のうち 10名	70名のうち 3名	13名	6/2 ～ 6/4	発熱、咳
2	由利本荘	高齢者施設	6/5	18名のうち 9名	16名のうち 1名	10名	6/2 ～ 6/4	発熱、咳、鼻声

【2025年度の累計報告数】 16施設(教育・保育施設2、社会福祉施設2、高齢者施設10、医療機関2)

※社会福祉施設等における、原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。

※「教育・保育施設」とは幼稚園、保育所、認定こども園等を指します。



RAPIDS<weekly> Report on Akita Prefectural Infectious Disease Situation

<https://idsc.pref.akita.jp/kss/>

秋田県感染症発生情報＜週報＞

お問い合わせ先：秋田県健康福祉部保健・疾病対策課 TEL: 018-860-1427
作成：秋田県感染症情報センター（秋田県健康環境センター内）

2025年第23週(6月2日～6月8日)

【注意報・警報の発生状況】

疾 患 名	注 意 報	警 報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
急性出血性結膜炎	－	横手(1.00)

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

*2025年4月7日からは、眼科定点から報告のある2疾患のみ注意報・警報発令の対象となりました。

対象疾患	注 意 報	警 報		対象疾患	注 意 報	警 報	
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
急性出血性結膜炎	－	1	0.1	流行性角結膜炎	－	8	4

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		